

平成 29 年度第 2 回遠野市総合計画審議会 — 議事概要 —

(開催要領)

- 1 日時 平成 29 年 8 月 8 日 (火) 午後 1 時 30 分～ 3 時 30 分
- 2 場所 遠野市役所とびあ庁舎 大会議室
- 3 出席者

(1) 委員

会長	臼井 悦男	遠野市社会福祉協議会会長
委員	松田 克之	遠野市消防団団長
委員	千葉 純子	一般社団法人遠野市医師会会長
委員	菊地セツ子	遠野市食生活改善推進員団体連絡協議会会長
委員	河野 好宣	遠野市体育協会会長
委員	菊池 一晃	遠野市民生児童委員協議会会長
委員	松田 希実	遠野市わらすっこ支援委員会委員長
委員	菅原 一雄	花巻農業協同組合理事
委員	濱田平八郎	遠野地方森林組合代表理事組合長
委員	三浦 芳昌	遠野市観光協会会長
委員	佐々木弘志	遠野市商工会会長
委員	及川 貴也	一般社団法人遠野青年会議所理事長
委員	坂下 明洋	遠野市校長会副会長
委員	菊池 光	遠野市 P T A 連合会副会長
委員	佐々木國允	遠野市郷土芸能協議会会長
委員	内館 充幸	遠野市区長連絡協議会会長
委員	海老 糸子	遠野市地域婦人団体協議会会長
委員	鈴木 一史	県南広域振興局経営企画部長
委員	佐々木栄洋	地域づくり団体
委員	高宏 美鈴	地域づくり団体
委員	沼 徳之	遠野ひまわり基金法律事務所弁護士
委員	佐々木浩章	遠野テレビ
代理	保坂 忠晴	N P O 法人遠野エコネット副代表
代理	細越 勉	一般財団法人遠野市教育文化振興財団常務理事
代理	平賀 康	遠野市金融団

(2) 遠野市

本田 敏秋	市長
飛内 雅之	副市長
中浜 艶子	教育長
鈴木 惣喜	総務部長
鈴木 英呂	経営企画部長
竹内 正己	経営企画部地域経営改革担当部長
沖館 讓	健康福祉部福祉課長
大里 政純	産業振興部長
古川 憲	農林畜産部長
佐藤 浩一	環境整備部長
千田 孝喜	環境整備部まちづくり再生担当部長兼本庁舎建設室長
小向 孝子	遠野文化研究センター一部長
小時田光行	消防本部消防長

石田 久男 市民センター所長
多田 博子 子育て総合支援センター所長兼総合食育センター所長
澤村 一行 教育部長
鈴木 純子 会計管理者
菊池 享 総務部総務課長
海老 寿子 経営企画部財政担当課長

(議事次第)

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 出席者報告及び日程説明
- 5 報告
 - (1) 市役所本庁舎開庁式等について
 - (2) テネシー州チャタヌーガ市との姉妹都市の締結について
 - (3) 健康ポイント事業等について
 - (4) 災害時における情報伝達システム導入検討会議について
 - (5) 土砂・浸水ハザードマップについて
- 6 審議
 - (1) 第2次遠野市総合計画前期基本計画(H28~32) 平成28年度まちづくり指標実績について
 - (2) 遠野スタイル創造・発展総合戦略 平成28年度重要業績評価指標(KPI)等について
- 7 その他
- 8 閉会

(配付資料)

- 1 次第、名簿
 - 2 市役所本庁舎開庁式等について …報告資料 No. 1
 - 3 テネシー州チャタヌーガ市との姉妹都市の締結について…報告資料 No. 2
 - 4 健康ポイント事業等について …報告資料 No. 3
 - 5 災害時における情報伝達システム導入検討会議について…報告資料 No. 4
 - 6 土砂・浸水ハザードマップについて …報告資料 No. 5
全11地区のマップも同封
 - 7 第2次遠野市総合計画前期基本計画(H28~32)
平成28年度まちづくり指標実績について …審議資料 No. 1
 - 8 遠野スタイル創造・発展総合戦略
平成28年度重要業績評価指標(KPI)等について …審議資料 No. 2
- * 1~6は当日配布。

(議事概要)

1 開会

○新田正宏 経営企画部

定刻となりましたので、始めさせていただきます。

本日は、お忙しい中、遠野市総合計画審議会に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。

ただ今から、平成 29 年度第 2 回遠野市総合計画審議会を開会します。私は、経営企画部の新田正宏と申します。よろしくお願いします。

はじめに、市長からご挨拶を申し上げます。

2 市長あいさつ

○本田敏秋 遠野市長

皆さん、大変、ご苦労様です。

台風 5 号が近づいておりますが、先ほど消防長から報告があり、大きな災害につながるようなことはないかと思われるが油断しないで対応しますとの報告があったところです。1 年前の 8 月 30 日には、遠野市も孤立集落が発生し、あるいは福祉避難所、さらには情報の伝達周知、避難誘導という大きな課題、そして教訓を得たわけですが、次々と襲い掛かる自然の猛威にどう対応するかとなれば、文字どおり市民一丸となり、隣り近所の中における一つのコミュニティーをしっかりとしたものを持っていくことも、防災に対する対応とすれば、極めて大事ではないかと思っております。

今日は、今年度 2 回目の総合計画審議会となります。これから盛りだくさんの内容について、委員の皆様にご報告し、忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。

お蔭様を持ちまして、本庁舎を間もなく供用開始に持ち込むことができました。多くの方々、市民一丸となってワークショップを行いながら、どのような本庁舎をという中で、大変な議論を展開していただきました。それを持ちまして、9 月 3 日には開庁式、落成式、そして祝賀会の準備を進めているところです。それに先立ちまして、8 月 19、20 日に引継式、内覧会を開催し、市民の皆様の本庁舎を見ていただき、文字通り、とぴあ庁舎と複合庁舎としての位置付けの中で、とぴあも光る、そして新たに建設した本庁舎も光ると、この 2 つが共鳴しあい、遠野のさわやかな響きとして遠野の山々にこだましながら、遠野の活力と元気をその中で醸し出して行くといったことが刻一刻とカンウトダンウが始まっているところです。これも皆様の日ごろの市政に対する、あるいは遠野市に対する熱い思いの中で、このような所にこぎつけたと思えます。

もちろん、地権者、店子の方々など 36 軒もの物件が移転しながら中心市街地の真ん中に、このようなことを位置付けたところですので、今、大きな課題となっている遠野駅舎の問題も、開庁式には J R 東日本盛岡支社長も参加をいただくこととなっておりますので、次に次にとつなげながら、遠野の誇るべき活力をその中で見出していくとなるのではと思っております。

今日は柳田國男先生の命日で、55 年前に亡くなられました。その『遠野物語』、1 カ月前に、BS テレビの歴史列伝の番組で、柳田國男先生が取り組んだ様々な偉業について詳しく紹介されておりました。番組では、7、8 割で遠野が紹介されておりました。丁寧に取材しながら、今の遠野があるのは、こだわりを持ち、地域も資源といったものにしっかりと根ざしながらまちづくりを行っている。今日の遠野があるのでは、市民の熱い思いと地域のこだわりだと述べられておりました。

これをしっかりと受け止めながら、次の世代にということを考えながらのまちづくりを行っていかねばなりません。そのためには、総合計画審議会の中におきまして、第 2 次遠野市総合計画を策定し、前期 5 カ年、後期 5 カ年として、3 年毎にローリングを行う実施計画を持ち、ピンポイントで、そしてタイミングを失ないように市政課題に立ち向かっていかねばなりません。

ただ、それだけではない。まち・ひと・しごと総合戦略といった地方創生法が施行されており、単なる国の制度、政策を受け入れるわけではない、遠野はまさにこだわりだという中にお

きまして、遠野スタイル創造・発展総合戦略を打ちたてながら、10年後、20年後を見据えた遠野のまちづくりといった方向性を、皆さんで確認することができましたので、そのような計画、戦略、さらにはうって出るといった部分で、9月15日には26年間の中学生、高校生の交流事業といった積み重ねの中で、アメリカ・テネシー州のチャタヌーガ市と姉妹都市の締結を行うという中で、教育文化振興財団を中心に、いろいろな準備も行っているところです。

さらには、伊能嘉矩先生の特別展が博物館で行われています。そういった中におきまして、遠野の人、先人の思いにもしっかりと受け答えできるような、それこそ待ったなしの状況ですので、皆様には更なる遠野のまちづくり、地域づくり、そして活力を生み出すような取組をご指導とご教示をお願い申しあげたいと思います。

今日は、新しくJA花巻の理事である菅原さん、ひまわり基金法律事務所の所長となられた沼さんに、委員に就任いただいているところですので、よろしくようお願い申しあげまして、冒頭のあいさつにかえさせていただきます。よろしく申し上げます。

3 会長あいさつ

○新田正宏 経営企画部

続きまして、臼井会長より、あいさつをお願いいたします。

○臼井悦男 会長

今日は8月8日で、時期的には夏まっさかりですが、台風が近づいているせいか、肌寒くなっております。夏のイベントも色々用意されており、夏の催しや秋の収穫を皆で喜べるような天気になればと思っているところです。

本日は、審議会で事業の評価を中心に議論を深めてまいりたいと思います。審議事項に関する資料は、事前に配布されておりましたので、目を通していただき何かとお気づきの点もあろうかと思えます。ぜひ、質問や意見を出し合い互いに理解を深め合い、審議会としての役割を果たしてまいりたいと思いますので、よろしく申し上げます。

4 出席者報告及び日程説明

○新田正宏 経営企画部

続きまして、出席者報告および日程の説明に入ります。

本日、委員の皆さまの出席状況は、25名中、代理出席を含めまして25名の皆様にご出席いただきました。ありがとうございました。

*代理出席の紹介。

なお、市の出席者については、あらかじめ名簿に記載しておりますので、紹介を省略させていただきます。

次に、本日の配布資料について説明いたします。

*配布資料の確認。

続きまして、本日の会議日程について説明いたします。

*会議日程を説明。

5 報告

○新田正宏 経営企画部

それでは、5の報告事項から、進行を臼井会長にお願いしたいと思います。

○臼井悦男 会長

それでは、報告に入ります。

なお、質問等は、報告事項が全部終了してから一括していただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

最初に、(1)の市役所本庁舎開庁式等について、事務局説明願います。

- (1) 市役所本庁舎開庁式等について（環境整備部まちづくり再生担当部長兼本庁舎建設室長）
- (2) テネシー州チャタヌーガ市との姉妹都市の締結について（市民センター所長）
- (3) 健康ポイント事業等について（健康福祉部福祉課長）
- (4) 災害時における情報伝達システム導入検討会議について（経営企画部長）
- (5) 土砂・浸水ハザードマップについて（消防長）

○臼井悦男 会長

今の説明事項について、質問やご意見をお願いします。

○内館充幸 委員

健康ポイント事業に関連し、サポートセンターは本庁舎に設けるのですが、オープンはいつですか。

情報システムについてですが、アマチュア無線との係わりは検討しましたか。

○沖館譲 健康福祉部福祉課長

とぴあを使う予定で、オープンは4月を予定しております。

○鈴木英呂 経営企画部長

検討した際、利用者が減少傾向にあり、全体に広く行き渡ることを優先的に考えた場合、はずした経緯があります。

○臼井悦男 会長

カタカナ表記が多いので、言い換えることができれば、分りやすい表記をお願いします。

6 審議

○臼井悦男 会長

それでは、6の審議に入ります。事務局説明願います。

- (1) 第2次遠野市総合計画前期基本計画（H28～32） 平成28年度まちづくり指標実績について（経営企画部長）
- (2) 遠野スタイル創造・発展総合戦略 平成28年度重要業績評価指標（KPI）等について（経営企画部長）

○臼井悦男 会長

委員の皆さんは、所属する分野に限定することなく、幅広く意見等をお願いします。

○河野好宣 委員

指標 No. 81「商店街街路灯LED促進事業」ですが、今、商店街の売り上げが減少し、運営が厳しい状況にある中、どのような形で国や県の補助金を活用しながら推進していくのか確認したいです。

○大里政純 産業振興部長

目標を達成できませんでした。要望されているところもあるのですが、受益者の負担もありますし、市の予算的に実施できませんでした。今後、希望する商店街等の調整を図りながら、市の予算の関係もありますので、検討していきたいと思えます。

○河野好宣 委員

商店街そのものの力が落ちている実態ですので、早急に検討して進めていただきたいです。

○大里政純 産業振興部長

昨年、街路灯が1基、倒れたこともあります。商店数が減っている中、市でも色々考えておりますが、もう少し詰めていきたいと思っております。

○河野好宣 委員

指標 No. 87「道の駅利用者を含む観光客入込数」は、未達成になっています。説明に「遠野市観光推進協議会設立準備委員会を設立し取組を加速化させる」とありますが、早急に進めなければならない課題だと思っております。今後の予定について、うかがいたいです。

○大里政純 産業振興部長

観光客は震災以降、なかなか戻ってきていない状況です。震災前は年間約180万人で、その内道の駅が約130万人回、それ以外で約50何人回。平成28年度は、50万人回が45万人回に減っています。それぞれが頑張っているのですが、それぞれの活動になっていることから、遠野市観光推進協議会設立準備委員会を、準備ではなく委員会に立ち上げ、一体となって取り組んでいけばいいと思っています。先日、関係の集まりを持ったのですが、冬の観光誘客に向け戦略を練ろうとしています。JRにも参加いただきました。50万人回に戻そうと取組をはじめていきます。

○三浦 芳昌 委員

観光客数を大きな施設だけで数えると、このような数値になるかと思っております。早池峯神社の宵宮や稲荷穴祭りとか、結構な観光客が来ていますので、カウントの仕方をもっと精査する必要もあると思っております。

○大里政純 産業振興部長

今年からカウントの取り方を見直しました。皆さん、頑張っていたいております。スポーツイベントもそうですが、できる限りカウントしようとしています。カップ淵は、これまでカウントできていなかったのですが、カウンターを設置して調べたところ平均して月に約6千人来ています。きちんとカウントして反映させたいと思っております。

なお、宿泊関係は、落ち込みが少ないところです。

早池峰山は、遠野側で5割アップしている状況ですので考慮したいと思っております。

○臼井悦男 会長

審議会で確認した後は、議員全員協議会に報告されていきますので、数値のほか、評価の記述についてもお願いします。

なお、市で謙遜しての表現だと思っておりますが「イベントのマナー化」とありますので、どうか。

皆さん、お願いします。

○千葉純子 委員

指標 No. 28「特定健康診査受診率」と No. 29「特定保健指導実施率」ですが、医師会のマンパワーが足りずに…。遠野病院とも連携して頑張りたいと思っております。

指標 No. 26「麻しん風しん混合予防接種の接種率」に関連して、この他にもデータはありますか。

○沖館譲 健康福祉部福祉課長

これ以外の予防出席については、後で連絡したいと思います。

○菊池一晃 委員

指標 No. 37「一人暮らし老人世帯等の見守り回数」ですが、見守り活動は、色々な団体で取り組んでいると思っておりますが、この指標では、カウントされていますか。

○沖館讓 健康福祉部福祉課長

ここでは、老人クラブ等の回数になります。

○佐々木弘志 委員

指標 No. 79「法人資産総額」ですが、各法人が資産を形成することを目標に設定すること、目標設定の根拠はどういったことですか。

○大里政純 産業振興部長

増加させていくことで…。

○内館充幸 委員

指標 No. 34「スポーツ施設利用者数」に関連してですが、先般、野球の東北大会少年の部で多目的グラウンドを利用したのですが、人工芝の張替えなので、ていねいに利用してほしいと言われました。これからは緩やかな利用、規制のないようにしてほしいです。

また、今後の利用者が増える見込みはありますか。

○石田久男 市民センター所長

野球大会で学童と少年の部があったのですが、野球協会の方から同じお話をうかがいました。多目的運動場の天然芝ですが、野球のスパイクで入りますと芝が傷むので、練習は土のグラウンドに限られております。芝を大事に育てておりますので、ていねいに取り扱いしております。野球で使う場合の管理方法を相談したいと思います。

利用者数の増加では、スポーツツーリズムに取り組んでおり、東北のシニアのサッカー大会等があり、そういった大会の誘致することにより、スポーツをするために遠野を訪れている方がかなり増えていきますので、続けていきたいと思っています。そういった中で、施設の利用者数も増やしていきたいと思っています。

○内館充幸 委員

小学生は、金具のスパイクでないので柔軟に対応してほしいと思います。

○石田久男 市民センター所長

芝に入れる靴、入れない靴など精査したいと思います。

○菊地セツ子 委員

人口減少が進んでいる中で考慮はしないのでしょうか。会員数が減ったと言っても人口が減っているし、観光客が減っていると言っても…。観光客が増えたので観光施設の整備にお金をかけたとたんに、減少になる場合もあります。

地区センターでの講座の受講者数についても触れていますが、自治会館で住民を呼んで体操とか食改善のほか講師を呼んで学習をしていますので、そういったことも含めれば数値が増えると思います。縦、横のつながりで、数値を把握すべきと思います。

○鈴木英呂 経営企画部長

遠野市の人口ビジョンを会場内に掲示しておりますが、遠野市の人口は、2040年には17千人台になるだろうと予測されていますが、何とか立ち向かい2万2百人代を目指そうと人口ビジョンを策定し取り組んでいます。

確かに人口が減る中で、いかに観光客の増加であるとか、スポーツ施設の利用者の増加とか、人口が減少する前提として考えた目標値でした。何とか、頑張っていきたいと思っています。

○高宏美鈴 委員

指標 No. 86 とかの「イベントのマナー化」とあり、実施している立場とすれば、あつと思ったしだいでした。バケツでジンギスカンを実施した際、県立大学の学生が係わっていますが、これからも係わっていききたいとの話がありましたので、ご紹介します。

指標 No. 42「家族介護者交流事業参加者数」ですが、このような取組はよいことだと思いますが、こういった方が対象ですか。

○沖館護 健康福祉部福祉課長

要介護の方の家族となります。

○佐々木栄洋 委員

非常に気になるのが、指標 No. 98「中学校標準学力検査偏差値」です。概ね達成となっておりますが、課題です。教育が充実してはじめて達成できるものが多く、高校の再編もですし、健康づくりもです。記載されている取組では、効果が少ないと思います。抜本的な取組が必要であり、大人の目線だけではなく、子どもたちと一緒に課題を解決する取組を、地域の方々の力を借りて取り組む必要があると思います。

○澤村一行 教育部長

中学校だけでなく小学校も含めて遠野市の子どもたちの学力向上については、長年取り組んできている課題です。遠野市教育委員会では、中学校の再編を機に小学校から中学校まで一環した指導技術の向上等に取り組んできています。偏差値は、平均を下回っている現状ですが、授業改善の成果が徐々に見えています。今年度は、中学校で 49.8 まで向上しております。今までの取組を充実させながら、生きるための力もつけるようにしていきたいと思います。

○佐々木栄洋 委員

これまでの取組を否定しているわけではありませんので、誤解のないようにお願いします。中学生の子を持つ親として、先生方が知りえない情報も得たりしており、今の施策で十分手当てできているのか疑問を持っています。親が頑張らなければならないこと、学校の先生と連携して効果があること、そして、地域の方々の力を借りて充実させることなど、色々なことがあると思いますので、今までの取組は継続してよいと思いますので、新しい枠組みを検討していただきたいと思います。あまり数値にとらわれない、子どもたちののびしろを高める取組に目を向ける必要もあります。

○澤村一行 教育部長

よりより人間形成を進める上でも、提言のとおり、保護者、地域の方々の協力をいただきながら子どもたちの教育環境をより良いものにしたいと思います。

○菊池光 委員

指標 No. 104「家庭教育講座等の延べ参加者数」に関連ですが、3年後に遠野高校と緑峰高校が統合になるのではと、子供たちが不安になっています。進路についての説明にも取り組んでほしいと思います。この1年とかではなく、継続して各分野で細かく対応してほしいです。

○石田久男 市民センター所長

各学校のリクエストに応じて開催したりしていますが、今の話のとおり、学校と相談しながら対応したいと思います。

○澤村一行 教育部長

高校再編についてですが、再編計画では 32 年までに統合とのことですが、入学者数の推移や、地域の地方創生に向けた取組などを検討したうえで判断することになっておりますので、現時点で 32 年度で統合することは確定しておりません。そのため、遠野市では、入学者数の確保に向けた、それぞれの高校の魅力向上の取組を展開しておりますし、高校再編を考える市民会議では、両校を存続させるための署名活動なども展開しているところです。

○臼井悦男 会長

指標 No. 127「各委員、協議会の女性参画率」ですが、調査対象が、どのように変更になった

のですか。

○石田久男 市民センター所長

遠野わらすっこ支援委員会、総合食育センター運営審議会等の3つの委員会が加わったのですが、女性の参画率が高い委員会でしたので、全体の数値を上げている現状です。

○松田希実 委員

指標 No. 109「博物館の入館者数」が未達成だったのが少し残念でした。まちなかで観光客の方から、でんでら野に行きたいとの声があったりしますが、その際は、博物館に行ってからでんでら野に行った方がもっと楽しめると案内をしています。実際、遠野の博物館は、リニューアルしてからとても分りやすく、魅力的なものになり特別展も色々行い努力しています。

今、法政大学の学生が遠野駅前でカフェをはじめていますが、活動の一環で遠野のPRビデオを撮影する際、地元の中学生が五百羅漢とか案内をしました。戻ってきた中学生から、自分たちの町を誰かに紹介するのが楽しいとは思わなかったとの声がありました。

博物館を訪れる方にとって、学芸員に案内していただいた場合、満足度が高いと思います。首都圏等では、博物館を市民のボランティアが案内しておりますが、中学生、高校生が土日の活動として案内することができないか。今、高校の魅力の再発見も言われておりますが、観光で言われている、点の活動を面にしていくことにもつながっていくと思います。

○小向孝子 遠野文化研究センター部長

まちなかに入って来ている人が、博物館を含め少なくなっていると実感しております。博物館とか、まちなかに点として見る箇所はありますが、線にする取組が必要であると感じています。友の会のようなものが博物館があればよいのですが、博物館でもありませんが、応援していただける会では、新たな動きを見せております。大変、良い意見をいただきました。中学生たちが自分たちの郷土を良く知ることは大切ですので、何か工夫できないかを関係課と工夫していきたいと思っております。

○佐々木國允 委員

指標 No. 52「認定農業者数」に関連して、新規就農者はどのようになっていますか。

また、高校生が、ポップ和紙、早池峰菜、害獣駆除とか地元のことを勉強、研究する取組において、卒業後も続けたい、そういった取組に係わり合いたいとの声を聞きますので、受け皿をつくってほしいです。

○古川憲 農林畜産部長

認定農業者の総会等でも話が出ており、県にも要望しているところですが、米の価格が安く規模拡大の意欲が出てこない部分もあり、さらに高齢化も進んでおり、規模拡大や認定農業者になってまでといった部分が少ない実態です。今後、国、県に要望するなど、魅力あるものにしていきたいと思っております。

緑峰高校は、全国大会などで成果をあげておりますが、これらの活動は代々受け継いで取組ですが、毎年、新しいものを入れて、レベルアップして活動しております。卒業した後の対応では、大人の活動もありますので、その中に入り広げていければと思います。

○佐々木國允 委員

若い世代同士での取組に期待したいです。

○古川憲 農林畜産部長

新規就農者の集まり等もありますので、そのような中で話題にしながらと思っております。また、サークル的な活動が盛り上がってくれば、支援等も検討したいと思っております。

○佐々木弘志 委員

中学生の海外派遣の目的ですが、アメリカに行くのが目的なのか、英語を学ぶのが目的か、

異文化に触れるのが目的なのか。英語を学ぶとなれば、マレーシアとかシンガポールの近場に行けば費用を減らして多くの人に経験させることができます。異文化であれば、英語圏で他にもあるかと思えます。費用対効果の面でも検討し、多くの生徒に経験させることも大事だと思います。

○石田久男 市民センター所長

チャタヌーガ市との姉妹都市の話をしましたが、交流のきっかけは、生徒の英語教育だったと思います。高校、中学で学んだ英語を現地で使うことにより、英語力が高まるのが大きな狙いでした。今まで続けてきて思うことは、英語力もですが、グローバルや視野を得たことが大きな成果だと思います。

他の場所での交流についてですが、費用はかかりますが、かつてイタリアに中学生が行ったことがあります。イタリア語しか話をしませんが、世界遺産も多く学ぶところも大きかったと思います。行った生徒や先生によりますと、学んできた英語が使えるところが良かったと。

チャタヌーガの半分の時間で行ける国もありますが、チャタヌーガに行きますと遠野の子どもたちは家族のように受け入れていただけ、ホームステイの中で直接、触れ合える機会もあり、言葉も含め文化も分り、グローバルな視点も得られるので、今、中学生の交流ではチャタヌーガ市がベストだと思います。姉妹都市を契機に、続けていきたいと思えます。

○佐々木弘志 委員

シンガポール、マレーシアでも英語です。仏教の国で歴史もある。シンガポールはグローバルな金融都市で、経済活動が活発です。コネクションがないのですが、逆に、アメリカのネイティブな英語よりは、アジアでの英語での経験の方がよいのではと思います。

○佐々木栄洋 委員

私も賛成です。派遣から帰ってきた子どもたちを、その後、どのような道を歩んでいるかを加味したうえで検討していただければと思います。英語を身につけるという段階から、グローバルな人材を輩出することが大事だと思いますので、いろんな視点で検討してほしいです。

○細越勉 教育文化振興財団

チャタヌーガ市とは長年、信頼関係を築いており、中学生を安心して派遣できます。アジア圏の方がコスト的にみればそうですが、これまで取組の糧をはずせないかと思えます。ご意見としてうかがいます。

また、チャタヌーガ市に派遣した方に、アンケート調査をしたことがあります。英語を使う職など、直接、影響している人はそんなに多くなかったと思いますが、行ってよかったとのアンケート結果が出ており、今があるという状況です。

○臼井悦男 会長

意見がないようですので、これまでの意見を踏まえ補正等があれば、おまかせしますが、こういう形で報告されることを了としたいと思えますが、よろしいですか。

(「はい」との声あり)。

では、了としたいと思えます。

7 その他

○臼井悦男 会長

それでは、その他に入ります。

何かありましたらお願いします。

○佐々木栄洋 委員

先ほどの審議の中で、高校の再編についてありました。今日は、市長をはじめ教育長が、持てる限りのことをされて、県の教育委員会の答申のとおりではないと一生懸命取り組んでおら

れます。多くの市民が、遠野高校の魅力を高めるように文武両道で取り組んでおりますし、緑峰高校でも、学んでいることを社会にいかすとして全国的にも評価されています。数の原理から、県では統合を掲げていると思いますが、地域として、これは承服しかねると、それぞれの方が取り組んでおられますので、市民の力をあわせ声を大にしていければと願っております。先ほど、そのような話がありましたので、私も思いを発言させていただきました。

○臼井悦男 会長

この他、ご意見ありませんか。

それでは、以上で進行を事務局にお返しします。ご協力ありがとうございました。

○新田正宏 経営企画部

臼井会長、大変、ありがとうございました。

ここで、市長からあいさつを申し上げます。

○本田敏秋 遠野市長

各委員から活発な意見が出ました。人口減少、観光振興、施設のあり方、国際交流、いろんな意味で市町村が問われている状況にあるのは、委員の皆さま、ご承知のとおりです。それぞれが、よい意味での競争をしながら立ち向かっていかなければならないという中で、特に、観光振興、交流人口の拡大、さらには、ネットワークを構築しながら、それぞれの役割を果たしていく関係を構築していかなければなりません。

明日、この場で、総合教育会議を開催し、小学生、中学生の学力向上に色々議論しようとしております。子どもたちも大変な活躍をしております。さらに、先般は、市内一斉河川清掃という中で、市民総出で河川清掃、災害にも備えるという中で対応をしていただきました。

さらには、15日に夢花火が行われる中で、建設業協会や商工会の青年部の方々が、暑い中、草刈をしていただいております。これらの動き、委員の皆さまからのご質問、ご意見、ご提言をしっかりと踏まえながら、第2次遠野市総合計画を着実に進め、さらには新たな課題には果敢にチャレンジする方向で取り組んでまいりたいと思います。

各部長からコメントがありましたとおり、それぞれの担当部長としての責任の中でしっかりと取り組んでほしいと言っておりますので、皆様からも、さらなるご指導、ご教示をいただきますよう、そして、会を仕切っていただいております臼井会長に感謝申しあげ、あいさついたします。ありがとうございました。

8 開会

○新田正宏 経営企画部

以上をもちまして、平成29年度第2回遠野市総合計画審議会を閉会いたします。大変ありがとうございました。